

ジンベエザメシュノーケリング確認事項

Whale Shark Snorkeling Precautions

シュノーケリングは、身体的に激しい活動になります。お客様ご自身の安全管理・体調管理は、各自の自己責任でしっかり行ってください。(前日の飲酒も、海難事故に繋がります。充分ご注意ください)

本ツアーへのご参加に際しましては、耳鼻咽喉系、呼吸器系、循環器系に疾患がなく、これらの状態が正常かつ良好でなければご参加いただけません。

加えて、高血圧、低血圧、意識障害、メニエール病、うつ病、躁病、けいれん発作、ヘルニア、脳脊髄関係の疾病、心臓循環器系の疾病、発作の常習がある、気胸、アルコール又は薬物への依存、肺の疾病、大きな手術の経験、腸閉塞、ぜんそく、糖尿病、てんかん、などの症状がある又は病歴のある場合には、専門の医師に相談し許諾を受けなければ本ツアーへはご参加頂けません。

妊娠中の方も本ツアーへはご参加いただけませんので、予めご了承ください。また、泳げる・泳げないに関わらず、必ずライフジャケットをご着用ください。

ご参加いただくには、免責同意書への同意(署名)が必要です。

●シュノーケルの使い方

・呼吸方法

シュノーケルは口だけで呼吸する為、慣れないと違和感があります。まずは、潜る前に口だけを使って呼吸をする事に慣れましょう。

1. 最初に、マスクとシュノーケル装着し、口で呼吸してみましょう。
2. マスクとシュノーケルに慣れてきたら、顔を水面につけてシュノーケルで呼吸してみましょう。水圧が掛かってしまうので少し息苦しくなりますが、呼吸がなれるまで練習しましょう。
3. 呼吸になれてきたら、実践です。水中では呼吸が苦しくなりがちになり、パニックを起こす事があります。対策のコツとして、息を吐く事に集中しましょう。吐く事ができれば自然と空気を吸う事ができるので、パニックになりにくくなります。
※注意：鼻で呼吸をしてしまうとマスクと顔の間に隙間ができ、浸水したりマスクが曇る事があります。

・水のクリア(吐き出し方)の方法

シュノーケルをつけたまま潜ると、シュノーケルの内部に水が入ってきます。そのまま呼吸をすると、口の中に水が入ってきて呼吸ができずパニックになる場合があります。この時の対処として「クリア」があります。クリアは潜ったときにシュノーケルに入ってきた水を排出するテクニックです。

1. 練習として、一度シュノーケルを水につけましょう。
2. 水が入ったままのシュノーケルを咥えて「ぶっ」っと息を吹いて水を吐き出します。すると、勢いよく水がシュノーケル先端と排水弁から水が排出されて息が出来るようになります。
3. 水をクリアすることが慣れてきたら実践です。潜ったあと浮上し、水面に浮いている事を確認してからクリアをしましょう。

●ジンベエザメシュノーケリングツアーにおける注意事項

- ・手や足、フィン、カメラ、または指示棒など如何なるものでもジンベエザメに触れてはならない。
- ・ジンベエザメに乗ってはならない。
- ・尾びれや背びれの付近、5メートル以内に近づいてはならない。
- ・ジンベエザメの進行方向を決して塞いではならない。
- ・海に飛び込んではいならない。
- ・ジンベエザメが捕食している時は、目の前2メートル以内に近づいてはならない。
- ・ジンベエザメを大人数で囲んではならない。最大6人までで交代で観察することが望ましく、それ以上だとジンベエザメが怯えその状況を逃れようとその場を離れ、結果として他の人も観察することができなくなってしまうことがある。
- ・ルールに従わずボートマンたちを困らせないこと。ボートマンたちは、シュノーケラーに対する刑罰の権利を有する。違反者などは通報され、ペナルティを与えられることがある。
- ・安全のため、ジンベエザメの背後や上に直接近づかないこと。彼らは突然動き出すなど予測不能な動きをする場合がある。
- ・ジンベエザメは生き物に興味を持つ。また、餌を与えてくれるボートマンと勘違いし、餌を期待してあなたに近づいてくる場合もあるが、決して何も与えてはならない。
- ・海に入る前に日焼け止めや日焼けオイルを使ってはならない。
- ・ライフベストやライフジャケットの着用は義務である。
- ・カメラのフラッシュは禁止である。
- ・グローブの着用は禁止である。